

かぶれば守れる 命がある



県教育委員会は、全ての県立学校生に対して、自転車通学の際、必ずヘルメットの着用を求めます。

千葉県教育委員会

守りたいのは あなたの命



千葉県マスコットキャラクター

チーバくん

～ヘルメットをかぶることはダサくない。

命を守るため、ヘルメットをかぶる姿はカッコいい。～

知ってる？ 自転車事故のリアル

自転車乗車中の死者損傷部位

背部 (令和6年)

5.9%

全損
17.6%

胸部
17.6%

頭部
58.8%

(千葉県警察資料「高校生の自転車事故の特徴等について」より)

※損傷部位については、全年齢による統計である。

※死者損傷部位の全損とは、人体に損傷が多数あり、致命傷が複数ある場合である。

※円グラフは、少数点第二位で四捨五入しているため、構成の和が100%にならない場合がある。

自転車事故で、亡くなった人の
約6割が頭を損傷

最近のヘルメットって こんなに変わったんだ。



- 制服に似合うカラー
- おしゃれなデザイン
- 軽量で快適なフィット感

#おしゃれも安全も、自分らしく選ぶ時代

※安全規格や安全基準に適合したヘルメットを選びましょう。

(県内の高校生の声より)

- 最初は、自転車に乗る時にヘルメットを着用することに少し抵抗があったけれど、今は慣れて、当たり前ヘルメットを着用しています。
- 大切な人、そして、自分のために自転車に乗る時はヘルメットを着用しています。

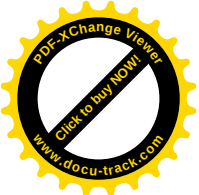
【ヘルメットをお得にゲット】

ヘルメットの購入助成をしている市町村があります。詳しくは各市町村のHPをチェックしてください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seikouan/koutsuuanzen/jikoboushi/jitensha/herumettohozyozigyoku.html> (千葉県HP)

二次元コード





生徒及び保護者の皆様へ

自転車乗車時のヘルメット着用について（お願い）

生徒の皆さんが、学校生活を安全に過ごすために、千葉県教育委員会から自転車乗車時のヘルメット着用についてお知らせとお願いがあります。

千葉県では、公立高校生の約半数が自転車を利用して通学しており、全世代の中でも、高校生が自転車に乗る機会はとても多いです。

このような状況の中、令和7年4月から7月までの間に、県立高等学校から県教育委員会に26件の交通事故が報告されており、そのうち、約88%の23件が自転車乗車中の事故でした。それらの事故の中には、頭部に重傷を負い、意識不明となった重篤な事故もありました。

また、千葉県警察本部の発表資料によると、令和6年における高校生の自転車乗車中の死傷者数は、他の年齢層に比べて突出しています。さらに、自転車乗車中の交通事故で亡くなった方（全年齢）の約6割が頭部に致命傷を負っていることや、頭部を負傷した死者・重傷者の中で、ヘルメットを着用していなかった方の割合は、着用していた方に比べて約1.6倍高くなっているという結果も示されています。

しかしながら、令和7年5月時点での県内公立高校生（特別支援学校高等部含む）のヘルメット着用率は、1割未満と依然として低い数値であり、多くの高校生が自転車乗車時の交通事故に遭った際、頭部を守ることができない非常に危険な状況にあります。

こうした事態を踏まえ、千葉県教育委員会では、生徒の皆さんの大切な命を守るために以下の方針を決定しました。

【千葉県教育委員会の方針】

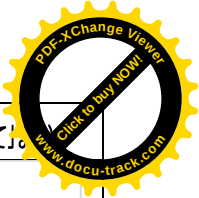
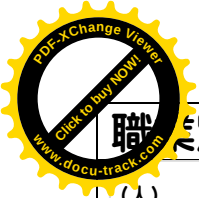
県教育委員会は、全ての県立学校生に対して、自転車通学の際、必ずヘルメットの着用を求める。

生徒の皆さん、登下校時はもちろんのこと、自転車に乗車する際には、万が一の事故に備えてヘルメットを着用し、大切な命を守りましょう。

保護者の皆様には、本趣旨を御理解の上、御協力をお願いします。なお、居住の自治体でヘルメット購入助成事業を行っている場合がございますので、御活用ください。

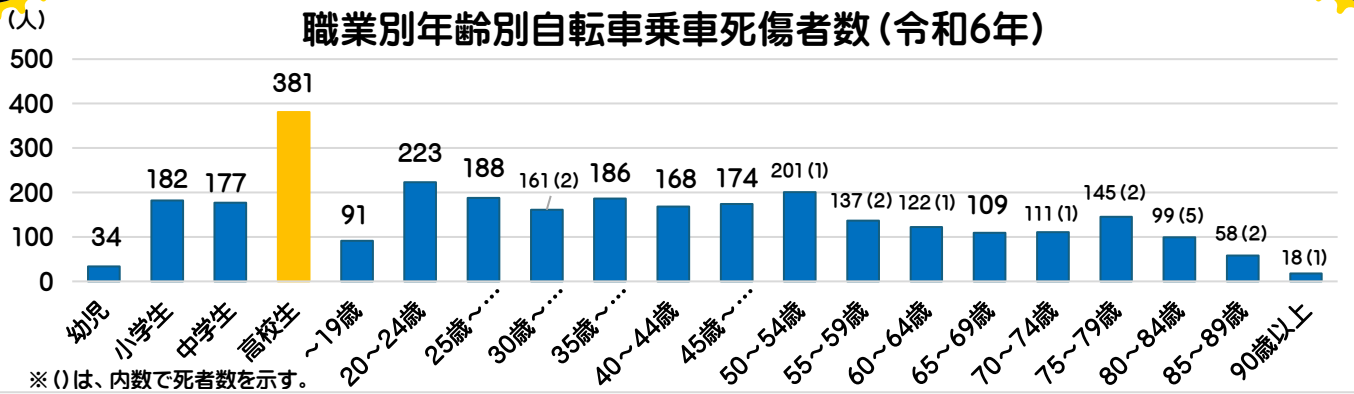
令和7年9月29日

千葉県教育委員会



自転車事故の特徴等について

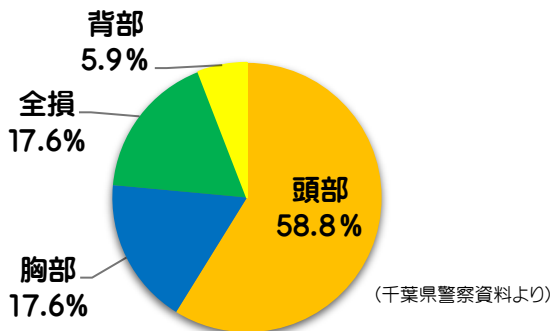
職業別年齢別自転車乗車中死傷者数について (千葉県警察資料「高校生の自転車事故の特徴等について」)



上のグラフは、令和6年中に千葉県内において、自転車乗車中の交通事故により死傷した人を年齢別に表したグラフです。**高校生の死傷者数が、他の年齢に比べ突出しています。**

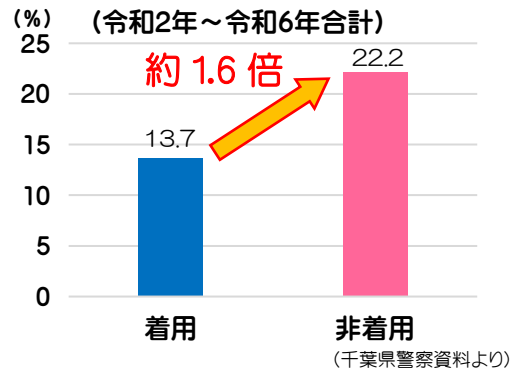
自転車乗車中の死者損傷部位と自転車乗車中の交通事故で主に頭部を負傷した死者・重傷者のヘルメット着用率比較について

自転車乗車中の死者損傷部位 (令和6年)



※損傷部位については、全年齢による統計である。
※死者損傷部位の全損とは、人体に損傷が多数あり、致命傷が複数ある場合である。
※円グラフは、少数点第二位で四捨五入しているため、構成の和が100%にならない場合がある。

自転車乗車中の交通事故で主に頭部を負傷した死者・重傷者のヘルメット着用率比較



自転車事故で亡くなられた方の**約6割が頭部に致命傷を負っています**。また、頭部を負傷した死者・重傷者の中で、**ヘルメットを着用していなかった方の割合は、着用していた方に比べて約 1.6 倍高くなっています**。

自転車事故に遭ったが、ヘルメットを着用していたため一命をとりとめた事例 (県立学校事故報告より)

千葉県の県立学校に通う生徒 A は、下校時に自転車で走行中、道路の左側から右側車線へ進路を変更したところ、後方から直進してきた自動車と衝突してしまった。その際、生徒 A は、自動車のボンネット及びフロントガラスに激突するなど、全身を強打し、病院へ救急搬送された。

診断の結果、生徒 A は肋骨及び手首骨折等の全治2か月の重傷を負ったものの、事故の際、ヘルメットを着用していたため、致命傷となる頭部の大きな損傷を免れ、一命をとりとめた。警察によると、ヘルメットを着用していなければ、もっと違った被害状況になったであろうとのことであった。

生徒 A は大きな交通事故に遭ってしまったが、ヘルメットの着用により、命が救われたのである。

自転車通学の際、ヘルメットを必ず着用しましょう。

◎ヘルメットの購入費の一部を助成している市町村があります。

詳しくは、お住いの市町村にお問い合わせください。

検索:千葉県ホームページ(自転車乗車用ヘルメット購入補助事業)



千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

千葉県教育委員会